

～ 元栗樹園地のそば栽培への転換実証ほ場 ～

栃木県さくら市

取組主体: さくら市担い手育成総合支援協議会

取組開始時期: 平成25年5月

解消面積: 92a(平成26年9月時点)

導入作物: そば

1. 取組のきっかけ・経緯

耕作放棄地について、当市は畑や樹園地が荒廃している状況にある。畑や樹園地は一度荒廃してしまうと作物転換も難しくなり、担い手等への集積もままならない状況が続いていた。

耕作放棄地が多い地域住民から耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用提案があり、集落で話し合いが進められ本交付金を活用した再生作業に着手した。

2. 取組内容

元栗樹園地において、樹木の伐採、抜根作業による農地再生と、そば栽培による実証圃の取組を行った。(内容は肥料の有無、チップ散布の有無による土壌の違いによる生育状況の比較。)

収穫後は、そば試食会とそば打ち体験教室を実施。また、全体的な取組内容の掲示発表を行った。

3. 今後の課題・予定など

同圃場は、今後も地元生産者によるそばの栽培を継続していく。

また、同地区においての他の耕作放棄地においても、そば栽培を推進していき、農地再生を図っていく。

4. 活用した補助事業

(国)耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容: 再生作業費(伐採、抜根等)、実証圃経費(土壌診断料、土壌改良剤費等)、そば試食会経費等)



再生前



再生後